

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。各事項は以下の区分に分けて記載しています。

 **危険** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う危険が差し迫って生じることがあります。

- 導電衣を着用して充電部に接近しない。
(感電のおそれがあります)
- 導電衣を「3.使用方法」に基づいて正しく着用すること。

 **警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性があります。

- 裸火に近づかない。(難燃仕様ではありません)
- 洗濯する時に、塩素系や酸素系などの漂白剤は使用しない。
(遮へい性能が著しく劣化します)
- 「5.管理方法」に記載されている使用限度を守る。
(遮へい性能が劣化している恐れがあります)
- 分解・改造をしない。(必要性能が得られなくなることがありますので絶対におやめください)

 **注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性および、物的損害の可能性がります。

- 衣類乾燥機を使用して乾燥しない。(タンブラー乾燥禁止)
- クリーニングを依頼しない。(一般的にタンブラー乾燥を行っているため)
- 当社の販売している導電衣の組み合わせ以外での使用はしない。
- 使用前には決められた点検を実施すること。
- 使用にあたっては、当該工事箇所に定められたルールに従うこと。
- 使用は日本国内の送電線工事に限る。



株式
会社

電力機材サービス

本社	〒101-0021	東京都千代田区外神田六丁目10-6 SSビル4階	TEL 03-5933-6560
つくば 事業所	〒300-3554	茨城県結城郡八千代町尾崎396-1	TEL 0296-49-3662
喜連川 事業所	〒329-1412	栃木県さくら市喜連川5129-8	TEL 028-686-7064

送電用導電衣

～ (株)電力機材サービス ～

1. 使用上の注意

この導電衣は、送電線の鉄塔上における人体に誘起する静電誘導電流を軽減する目的で開発したもので、導電性靴下と導電性作業靴と共に正しく着用することによりその効果を発揮するものです。従って、**絶縁性の靴または絶縁性の靴下を履いた状態で導電衣を着用しても全く効果はありません。**

[禁止事項] 導電衣を着用して充電部に接近しない

布地は、銀メッキ繊維を使用しているため、一般衣類より感電し易い危険があります。導電性を有していても、電流容量は極めて小さいので、雷や商用電流をバイパスする機能はありません。

[留意事項] 裸火に近づかない

可燃性布地なので、裸火に近づくと燃えるおそれがあります。

2. 導電衣の構成と名称



製品は製造の都合上、新品時において部分的に生地の変色がある場合がございますが、性能には全く影響はございません。

3.使用方法

- ・着用前に外観点検を行い、大きな破れ、接続紐の破損等が無い事を確かめること。
- ・上下とも下着を着て、導電衣が肌に直接触れないように着用する。銀メッキは、汗の塩分等に反応して導電性が低下する性質があるので、速乾性の下着が望ましい。
- ・トップスとフードをドットボタンで接続する。
- ・トップスをボトムに収めて接続紐できつく縛り接続する。
- ・導電靴下をはいた上からトレンカを土踏まずの辺りに回して導電靴を履く。
- ・安全帽の上にフードを被せ、調節ゴムにて好みの締め付け強さに調節して使用する。(頭と導電衣を絶縁する)
- ・導電衣の上に「一般作業服」を着る。更に防寒着等を重ね着してもよい。

○フードの締め付けゴム調節方法



好みの締め付けまでゴムを引く



ゴムを縛りまとめておく
余ったゴム部を切ってもよい



完成

4.洗濯方法と保管（推奨）

- ・銀メッキ繊維はデリケートなので、洗濯ネットに入れ、弱洗いモードで洗濯する。他の洗濯物とは一緒にしない。
 - ・洗剤は、中性の洗濯用洗剤を使用する。
 - ・乾燥は、ゆったりとハンガーに掛け、陰干しの自然乾燥とする。アイロンがけは行わないこと。また無理に伸ばしたりしないこと。
 - ・洗濯のタイミングは、連続着用1週間を目安とする。ただし、汗が導電衣まで染み込んだ場合は、銀メッキの劣化を防止するため当日中に洗濯する。
洗濯後は、ポリ袋などに収めて外気を遮断して保管する。
- ※尚、新品時は銀メッキの劣化防止のため、真空パックを行い外気を遮断している。

[禁止事項]

- ・遮へい性能が著しく劣化するので、漂白剤は使用しない。
- ・性能を劣化させるので、衣類乾燥機を使用して乾燥しない。(タンブラー乾燥禁止)
- ・クリーニングを依頼しない。(一般的にタンブラー乾燥を行っているため)

5.管理方法

- ・所定の性能を維持するため、次の①洗濯回数による管理、又は、②電気抵抗値による管理を実施すること。

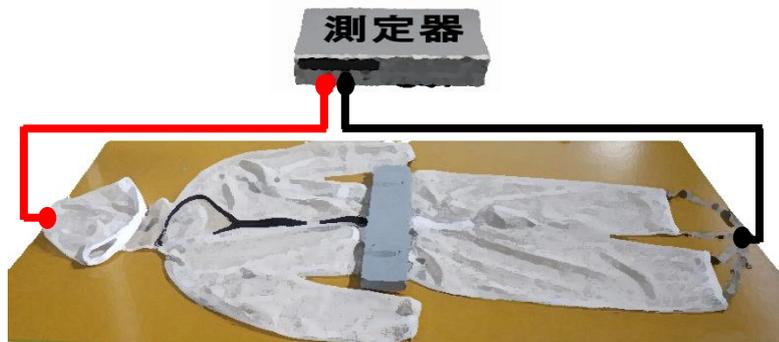
①洗濯回数による管理

- ・着用と洗濯を繰り返すと、遮へい性能が低下する。
性能試験結果より、洗濯回数20回を目安とし導電衣の使用限度を適切に管理する。
なお、性能試験(遮へい率測定)は、発汗時を模擬して下着を塩水で湿潤させた状態で実施した。洗濯回数20回に到達後は、必ず電気抵抗値測定を行い管理を行う。

②電気抵抗値による管理

- ・着用と洗濯を繰り返すと、導電衣の電気抵抗が増加し、遮へい性能が低下する。
- ・人体を流れる静電誘導電流は、感知電流1mAの1/3 (300 μ A) 以下として不快感を感じさせないレベルとする。
そのためには遮へい率50%を確保する必要がある、これに相当する電気抵抗値は性能試験より1000 Ω 以下であることから、この値を導電衣の使用限度として適切に管理する。

6.電気抵抗値測定方法



- ① トップスとボトムについている、接続紐をきつくしぼる(一番短くする)
- ② 「①」でしぼった接続紐をボトムの中に入れる(人がはいた状態にする)
※完全にトップスがボトムの中で伸びた状態ではかせる(トップスが折れないようにする)
- ③ 腰部分へ6kg位の絶縁性の重しを乗せる
- ④ トップス、フードのしわを良く伸ばし、フードの頭頂部をクリップで挟む
※測定時は、フードがトップスにかからない様に遠ざける
- ⑤ ボトムのしわも良く伸ばし、トレンカの先をクリップで挟む

※導電衣に関するお問い合わせ・ご相談窓口

(株)電力機材サービス(つくば事業所) TEL (0296) 49-3662